

新技術概要説明資料（1／5）

		登録No.	1549				
名称	SEEE／KIT受圧板		収受受付年月日	平成27年11月27日			
			変更受付年月日				
副題	グラウンドアンカー用鋼製受圧板		開発年	2003			
区分	☐ 1. 工法 ☐ 2. 機械 ☐ 3. 材料 ☒ 4. 製品 ☐ 5. その他 番号：			4			
分類	1-1-3. 共通工／法面工						
キーワード	☒ 1. 安全・安心 ☒ 5. 公共工事の品質確保・向上 ☒ 2. 環境 ☒ 6. 景観 ☐ 3. 情報化 ☐ 7. 伝統・歴史・文化 ☒ 4. コスト縮減・生産性の向上 ☐ 8. リサイクル 番号：			1	6		
				2			
				4			
				5			
国土交通省への登録状況	申請地方整備局名	登録年月日	登録番号	評価（事前・事後）			
	九州地方整備局	2004/10/4	QS-040016-V	有用な新技術			
開発目標（選択）	☐ 1. 省人化 ☐ 5. 耐久性向上 ☐ 9. 地球環境への影響抑制 ☒ 2. 省力化 ☒ 6. 安全性向上 ☐ 10. 省資源・省エネルギー ☒ 3. 経済性向上 ☒ 7. 作業環境の向上 ☒ 11. 品質の向上 ☒ 4. 施工精度向上 ☐ 8. 周辺環境への影響抑制 ☐ 12. リサイクル性向上 番号：			2	7		
				3	11		
				4			
				6			
活用の効果	従来技術名：		工場製品コンクリート製受圧板				
	1. 経済性	☒ 1. 向上（％） ☐ 2. 同程度 ☐ 3. 低下（％）	番号：	1	3%		
	2. 工程	☒ 1. 短縮（％） ☐ 2. 同程度 ☐ 3. 増加（％）	番号：	1	60%		
	3. 品質・出来型	☐ 1. 向上 ☒ 2. 同程度 ☐ 3. 低下	番号：	2			
	4. 安全性	☒ 1. 向上 ☐ 2. 同程度 ☐ 3. 低下	番号：	1			
	5. 施工性	☒ 1. 向上 ☐ 2. 同程度 ☐ 3. 低下	番号：	1			
	6. 環境	☒ 1. 向上 ☐ 2. 同程度 ☐ 3. 低下	番号：	1			
	7. その他	☐ 1. （定義済みの値なし）	番号：				
開発体制	☒ 1. 単独 ☐ 2(1) 共同研究(民民) ☐ 2(2) 共同研究(民官) ☐ 2(3) 共同研究(民学) 番号：			1			
開発会社	(株)エスイー	販売会社	(株)エスイー	協会名			
問合せ先	技術	会社名：	(株)エスイー		住所：	愛知県名古屋市中区錦1-18-24 HF伏見ビル9F	
		担当部署：	名古屋支店		TEL：	052-229-0311	
		担当者名：	山田 勝彦		FAX：	052-229-0319	
					mail：	katsuhiko_yamada@se-corp.com	
	営業	会社名：	(株)エスイー		住所：	愛知県名古屋市中区錦1-18-24 HF伏見ビル9F	
		担当部署：	名古屋支店		TEL：	052-229-0311	
		担当者名：	石川 明広		FAX：	052-229-0319	
					mail：	akihiro_ishikawa@se-corp.com	
(概要)	本技術は、斜面安定・地すべり抑止に用いられるグラウンドアンカーの受圧板として開発したものです。従来は現場打ち法枠やコンクリート製受圧板で対応していました。本技術の活用により、従来よりも現場作業を省力化できたり施工が容易となり、受圧板高さが低いため全面緑化に近い法面緑化が可能で、施工性や景観性が大幅に向上します。地すべり対策工事、急傾斜地崩壊対策などグラウンドアンカーが適用される工事に適用可能です。						

新技術概要説明資料（2／5）

新技術名称

SEEE／KIT受圧板

登録No.

1549

（特 徴）

（長 所）

従来の現場打ち法枠と比較すると、工場製品であるため現場作業を省力化でき、工期の短縮が図れます。また従来のコンクリート製受圧板と比較すると、軽量であるため施工が容易となります。受圧板高さが低いため全面緑化に近い緑化が可能となります。

（短 所）

受圧板の許容荷重が標準型では1100kNとなっており、それ以上の大型グラウンドアンカーの場合には別途設計対応となります。

（施工方法）

通常のアンカー工（削孔工、テンドン挿入工、グラウト注入工、緊張定着工）のグラウト注入工後に以下の手順で行います。

①吊り上げ

吊り上げはKIT受圧板に取り付けた吊金具（アイボルト）にワイヤーロープ等を通しKIT受圧板質量と現場の作業半径に適合したクレーンを使用して行うものとします。

②据え付け

地山との間に有害な隙間が生じないように地山を整形するか、不陸対策等を行います。また、KIT受圧板中央部にはアンカーが打設されているので削孔によるくぼみが形成されていることがあります。このくぼみは現地発生土やモルタル等により充填する必要があります。

（施工単価等）

☐ 1(1). 歩掛りあり（標準） ☒ 1(2). 歩掛りあり（暫定） ☐ 2. 歩掛りなし

1(2)

掲載刊行物

建設物価（有・無） 掲載品目（ ）積算資料（有・無） 掲載品目（ ）

その他（カタログなど）

（ ）

積算資料等

SEEE/KIT受圧板 標準積算資料 平成25年9月（自社）

資材単価 見積り対応

施工管理基準資料等

SEEE/KIT受圧板 設計・施工マニュアル 平成27年7月（自社）

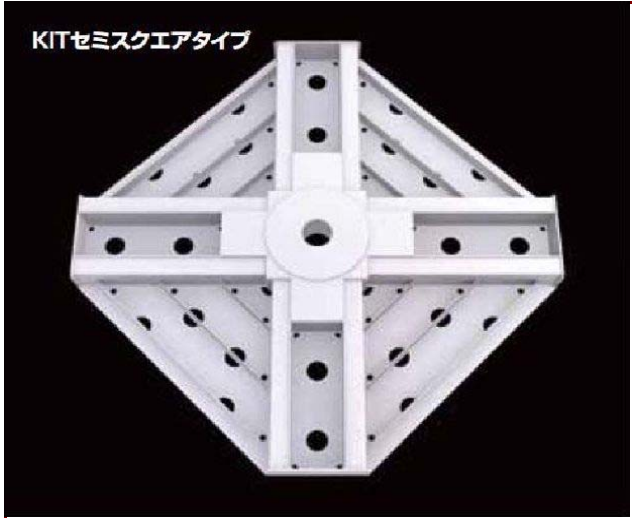
新技術概要説明資料（3／5）

新技術名称	SEEE／KIT受圧板		登録No.	1549
(適用条件) (適用できる条件) 現場条件：作業半径等を考慮して適切なクレーンを選定する必要がある。 自然条件：法面に不陸がある場合には適切な背面処理を行う。酸性土壌や塩害が考えられる特殊な使用環境下では適切な防食を行う。				
(適用できない条件) グラウンドアンカー工が適用できないところ。				
(設計上の留意点) ・アンカー設計荷重、設置地盤の地耐力に見合う受圧板のタイプを選定する。 ・切土整形後に設置地盤に大きな不陸が想定される場合には不陸調整を検討する。				
(施工上・使用上の留意点) ・設置地盤に大きな不陸がある場合には不陸調整を行ってから受圧板を設置する。 ・施工時に防食機能に損傷がないように注意する。				
(残された課題と今後の開発計画) 課題：特殊環境における防食 開発計画：特殊環境において使用可能な防食方法を確立し、特殊環境仕様として標準化する。				
(実験等作業状況) グラウンドアンカー受圧板性能試験報告書 財団法人土木研究センター 平成23年1月を添付いたします。				
(添付資料) 実験資料等 グラウンドアンカー受圧板性能試験報告書 財団法人土木研究センター 平成23年1月				
その他				
特 許	☐ 1. 有り (番号:) ☐ 2. 出願中 ☒ 3. 出願予定 ☐ 4: 無し		番号	3
実用新案	☐ 1. 有り (番号:) ☐ 2. 出願中 ☒ 3. 出願予定 ☐ 4: 無し		特許番号	
			番号	3
評価・証明	建設技術評価制度番号		民間開発建設技術の審査証明番号	
	証明年月日		証明年月日	
	制度等の名称		証明機関	
	制度等の名称		制度等の名称	
その他の制度等による証明	制度名、番号		制度名、番号	
	グラウンドアンカー受圧板性能試験			
	証明年月日		証明年月日	
	2005/5/27			
	証明機関		証明機関	
	財団法人土木研究センター			
証明範囲		証明範囲		
受圧板の強度性能				

新技術概要説明資料 (4 / 5)

新技術名称		SEEE/KIT受圧板		登録No.	1549
施工実績	実績件数	公共機関:	2925件	民間:	
	発注者	施工時期	工事名	CORINS登録No.	
	静岡県島田土木事務所	2015/2	平成26年度 (主) 藤枝天竜線(県道災害防除)(法面工)		
	静岡県下田土木事務所	2015/1	平成26年度 (国) 136号(災害防除)工事(斜面对策工)		
	静岡県富士土木事務所	2014/11	平成26年度 (主) 清水富士宮線(道路拡幅工) 里沢工区		
	静岡県浜松土木事務所	2014/7	門島 災害関連緊急地すべり対策(溪流関連)工事(法面工)		
	静岡県志太榛原農林事務所	2014/2	平成25年度農道整備(一般・農道保全) 高草地区法面工		
	国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所	2008/9	平成19年度 由比地すべり工事用道路 2号線工事		
	静岡県静岡市	2015/3	平成26年度 静岡県果樹研究センター誘致敷地地盤対策		
	静岡県浜松市	2012/9	平成24年度(一) 春野下泉停車場線道路災害復旧工事		
施工実績	中日本高速道路(株) 浜松工事事務所	2011/11	第二東名高速道路 横岡地区のり面对策工事		
	中日本高速道路(株) 浜松工事事務所	2011/1	第二東名高速道路 富幕地区のり面補強工事		

新技術概要説明資料（5 / 5）

新技術名称		SEEE／KIT受圧板	登録No.	1549
		KIT受圧板の形状(クロスタイプ)		
		KIT受圧板の形状(セミスクエアタイプ)		
		KIT受圧板施工例(緑化3ヵ月後)		
		KIT受圧板施工例(擁壁補強)		
		荷重試験状況		